

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和4年3月24日

計画の名称	1 小美玉市の安心安全なうるおいあるまちづくり (防災・安全)									
計画の期間	平成26年度～平成30年度 (5年間)	交付対象	小美玉市							
計画の目標	市民が安心・安全な生活を過ごせるために、安全で快適に通学ができる通学路整備、災害に強い道路構造物等の強化、歩行者と自転車に優しい安全な道路など多様な機能を十分に発揮させる道路政策を実施することにより、市民生活にうるおいと安心を与え、市内の基盤整備を充実させる。									
計画の成果目標 (定量的指標)	通学路において、通学路緊急合点検箇所及び継続的点検により必要対策箇所 (道路管理者対策箇所) となった箇所を解消することで、児童・生徒が安全で通行できる通学空間を確保する。									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値	備考		
							当初現況値 (H26当初)		中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
①	通学路緊急合点検において、対策必要箇所 (道路管理者対策分) として挙げられた箇所の整備率 (%) = 対策が完了した箇所数 (箇所) / 対策必要箇所 (道路管理者対策分) の総箇所数 (箇所) × 100 (市町村道分)						0%	—	80%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,423百万円	A	1,423百万円	B	—	C	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	—

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期

事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
小美玉市社会資本整備総合交付金評価委員会を開催し、事後評価を行う。	令和4年3月24日
	公表の方法
	小美玉市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

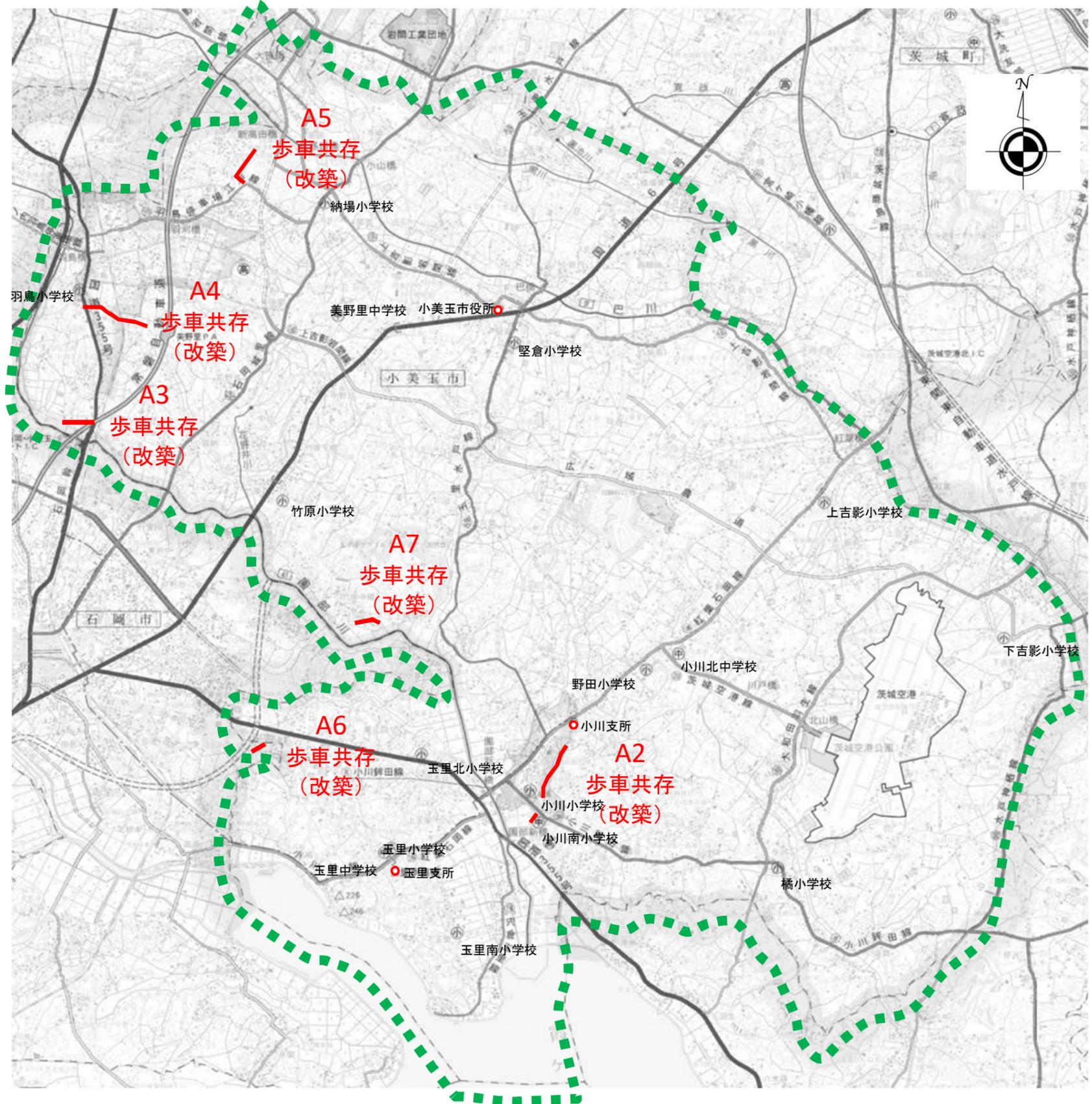
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
												H26	H27	H28	H29	H30		
道路事業	1-A2	道路	一般	小美玉市	直接	小美玉市	市町村道	改築	市道小107号線 (小川小)	歩車共存L=1,110mW=9.6/5.5m	小美玉市						385	
	1-A3	道路	一般	小美玉市	直接	小美玉市	市町村道	改築	市道美2-10号線 (羽鳥小)	歩車共存L=475mW=9.0/5.5m	小美玉市						200	
	1-A4	道路	一般	小美玉市	直接	小美玉市	市町村道	改築	市道美2-9号線 (羽鳥小)	歩車共存L=950mW=7.5/4.0m	小美玉市						399	
	1-A5	道路	一般	小美玉市	直接	小美玉市	市町村道	改築	市道美417号線外1線 (納場小)	歩車共存L=517mW=8.8/6.0m	小美玉市						117	
	1-A6	道路	一般	小美玉市	直接	小美玉市	市町村道	改築	市道玉301号線 (玉里北小)	歩車共存L=300mW=8.1/4.0m	小美玉市						92	
	1-A7	道路	一般	小美玉市	直接	小美玉市	市町村道	改築	市道美1-11号線 (竹原小)	歩車共存L=580mW=9.25/5.5m	小美玉市						230	
	小計 (道路事業)																1,423	
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																		
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
												H26	H27	H28	H29	H30		
合計																		
C 効果促進事業 (該当なし)																		
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
												H26	H27	H28	H29	H30		
合計																		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・市道美2-10号線等の学校周辺の通学路に関する歩道整備等を行った結果、通学児童と通行車両が分離され、通学路緊急合同点検箇所が解消が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（対策必要箇所の解消率）	最終目標値	80%	目標値と実績値に差が出た要因	市単独事業において、用地取得に頼らない交通安全対策を併用し、整備を進めたため。
		最終実績値	83%		
		最終目標値	—	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	—		
		最終目標値	—	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	—		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・市道美417号線外1線の道路整備により、地域公民館へのアクセスがスムーズになり、通過交通も増加傾向にある。			
3. 特記事項（今後の方針等）					

(参考様式3)

(参考図面)防災・安全整備計画

計画の名称	小美玉市の安心安全なうるおいあるまちづくり(防災・安全)		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5箇年)	交付対象	小美玉市



凡例	
歩車道共存拡幅	—
歩道整備	⋯
効果促進事業	⋯